



WEEKLY REPORT

第2580地区 東京豊島東ロータリークラブ

創立/1986年2月19日 (会長)久保 司 (幹事)渡邊 裕之
 例会場/〒171-8505 東京都豊島区西池袋1-6-1 ホテルメトロポリタン Tel(03)3980-1111
 事務所/〒171-0021 東京都豊島区西池袋3-33-26-109 Tel(03)3985-7577 Fax(03)3590-6644
 HP/http://www.toshimah-rc.jp E-mail/info@toshimah-rc.jp

◎本日の例会 1200回 2011年6月29日

チェンジオーバーナイト (家族会)
 受付開始 17:30
 例会点鐘 18:00

◎前回の例会 1199回 2011年6月22日

幹事報告

2011年2月23・24日に開催されました地区大会記録誌が届きましたので、登録いただいた方のメールボックスにお配りしております。

■ゲスト

NPO 国際建設技術情報研究所理事長 藤盛紀明様

■ビジター

池袋西RC 平井憲太郎様
 板橋RC 平井和成様
 札幌幌南RC 我妻章司様

■出席報告

会 員	出席率 参入 会員数	出席数	欠席数	出席率	6月8日分 修正 出席率
40名	34名	26名	8名	76.47%	88.57%

ニコニコ BOX

渡邊会員/いよいよ来週でお役御免です。さびしいやらうれしいやらでニコニコ致します。



札幌幌南RCの我妻章司様へ久保会長よりバナーをお渡し致しました。

◎次回の例会 1201回 2011年7月6日

新年度役員理事挨拶

クラブ定款・細則改定について臨時総会を開催



新世代奉仕委員会の設置についてクラブ定款並びに細則の改訂部分の骨子について説明される稲川諮問委員。

他クラブニュース

東京板橋セントラルRC

「臨時例会変更のお知らせ」

2011年

- 8月12日(金) → 特別休会
- 8月19日(金) → 移動例会 (夏季懇親会)
- 9月23日(金) → 祝日休会
- 9月30日(金) → 夜間例会
- 11月18日(金) → 移動例会 北分区IM (11月14日)
- 12月23日(金) → 祝日休会
- 12月30日(金) → 特別休会

6月 親睦活動月間





日本人の起源から見た桂離宮までの日本建築
NPO 国際建設技術情報研究所理事長
日本学術会議 連携会員 藤盛紀明氏

外国人とランチやディナーをする場合「会話」が大切である。日本人とは何か、日本建築とは何かについて自分の考え、解釈、建築論を話すと楽しい会話となる。日本建築のルーツを探ると1万年以上続いた縄文時代と1000年以上続いた弥生時代の影響を強く感ずる。飾り気なく情熱をそのまま伝えた縄文の土器・土偶、熱効率と洗練された美しさを誇る弥生時代の土器。これらが現在に繋がる日本建築の基本と考える。

縄文時代の住居は竪穴住居である。竪穴住居周囲を土盛りし、外側には排水溝をもうけ、内部を掘り下げ、柱などで骨組みをつくり、木や枝を立てかけて屋根とする。屋根には草・土を載せる。竪穴住居の「大きな屋根と土間」という形式は長く日本住宅の伝統となっている。自然と共に生きた縄文人の証が竪穴住居にはある。

高床式建築は弥生人が稲作文化とともに持ってきたと言われる。暑くて湿度の高い南の地域で穀物を保管するのは高床式倉庫が最適であり、神社建築の素形でもある。急激に人口増加し、戦ってクニを造った弥生人は土器製作でも効率と機能美を求めた。彼らが神に祀った「小型丸底壺」は本当に美しい。

建築家菊竹清訓によれば日本建築は400年ごとに変革した。4世紀以前は「竪穴住居」、4世紀は「高床式建築」、8世紀は「寝殿づくり」、12世紀は「書院づくり」、16世紀には「数寄屋づくり」そして20世紀は「自在づくり」、21世紀には日本型住宅が世界の理想の住宅となるとしている。

日本建築には古来庭園が付属している。日本庭園の始まりは縄文由来の巨岩信仰の磐座と弥生由来の水の信仰の合体である。世界遺産に内定した平泉毛越寺の庭園が典型である。

ブルーノ・タウトが絶賛した桂離宮は美しい書院、数寄屋づくりの茶室、回遊式庭園と日本古来の日本建築の集大成である。桂離宮を建設した八条宮智仁親王

(1579-1629)は豊臣家後継・天皇候補となりながら挫折し不遇の人生を歩まれた。そのため学芸に励まれ当代を代表する宮廷文化人となった。桂離宮は平安王朝文化を偲んで造営されたと言う。この建築は弥生の系統と言うことができる。

クラブ独自の活動でロータリーの広報を



ネットワーキングを目的としたバーベキュー大会を毎年開催している米国バージニア州チャーチランド-ポーツマス・ロータリー・クラブ。

写真提供: Bill Pollard

フィリピンの第3780地区カミング・ロータリー・クラブでは、過去17年間、地元の小学校や高校と協力し、市内143の学校から何千人もの生徒を集めたスポーツ大会を開催しています

この大会では、クラブ会員が毎年テーマを定め、2010年は、環境保護のために青少年が果たす重要な役割についてというものでした。ロータリー・クラブの多くは、その他の団体と一線を画するような大規模なプロジェクトや恒例イベントを行うことで有名です。ポリオ撲滅をめざして毎年行われるディナーや、公園清掃事業など、クラブ独自の活動や資金集めのイベントは、ロータリーが行動志向のボランティア奉仕団体であるという公共イメージを広げる一助となります。

トーマス・M・ソーフィンソン RI 副会長は、「小規模なプロジェクトだとインパクトが少ないですが、一つの大規模なプロジェクトなら独自性をアピールできます。ロータリーのイメージを広報していく良い方法は、地域社会において公共性の高い独自のプロジェクトや募金活動イベントを、長年にわたり実施していくことです」と述べています。

米国ウィスコンシン州のケノーシャ・ウェスト・ロータリー・クラブは、奉仕活動に活用する資金を集めるため、毎年スポーツ大会を開催しています。多くの人々が楽しみにしているこのイベントは、地域全体の青少年を対象としており、同クラブは、ウェブサイトを活用し、イベントを積極的に広報するだけでなく、前年度の大会の様態を記録した動画も掲載しています。また、同クラブのオンライン会員名簿では、会員がこのイベントのためのユニフォームを着ている写真を見ることもできます。

ここでは、どのように独自の活動を創り上げていくかについてのヒントをご紹介します。また10月および2月の「Your Voice, Your Solution(会員の声、あなたならどうする)」を読んで、ロータリアンがどのように独自の活動を行っているかをご参照ください。

この記事は、「[ロータリー・リーダー](#)」からの抜粋です。